

北海道札幌手稲高等学校 グランドデザイン

校訓 継続は力なり

[昭和59年(1984年)8月20日制定]

学校教育目標

愛と力と夢よ あふれよ

自他の尊重と人格の形成

知識の習得と教養の涵養

未来の想像と社会の創造

スクールミッション

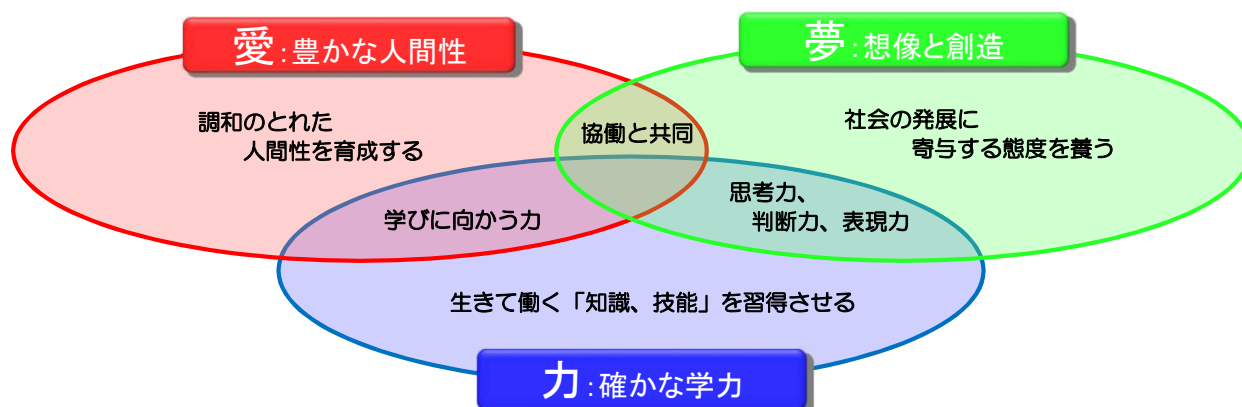
- ◆生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- ◆向学心や探究心を身に付け、自己の進路決定に向けて意欲的に学習に取り組む生徒の育成

キャッチフレーズ

Teine Pride
～ 一人一人が手稲高校 ～

重点目標

- 1 健やかな身体を育み、自他の人格を尊重し、人間としての在り方・生き方を自覚する
- 2 幅広い知識と教養を身に付け、自ら進んで問題を解決し、社会の変化に対応する
- 3 目指すべき進路を見据え、職業観を形成し、よりよい社会の発展に寄与する



◎育成を目指す資質・能力に関する方針

◆卒業までに次に掲げた「資質・能力」を身に付けることを目指します

- ・『愛』 ① 人間性 ② 協働性 ③ 自己管理能力
- ・『力』 ④ 知識・技能 ⑤ 思考力 ⑥ 課題探究能力 ⑦ 主体性
- ・『夢』 ⑧ キャリアプランニング ⑨ 創造力 ⑩ 情報収集能力

◎教育課程の編成及び実施に関する方針

◆未来に羽ばたくために次に掲げた教育活動を展開します

☆単位制の実施

- ・大学入試に対応できる専門性の高い科目選択が可能
- ・芸術系大学や公務員受検にも対応できるカリキュラム編成

☆キャリア教育の充実

- ・高校卒業後、さらには大学卒業後のライフプランを見据えた諸活動
- ・1年次での「インターンシップ・ミッション」(約60の事業所訪問)
- ・2年次での「学び探究ゼミ」(約15講座)
- ・3年次での「テーマ別探究」(約15講座)

☆文武両道の精神

- ・学習と両立させながら、自分の資質・能力を発揮できる部局同好会の設置
- ・全道大会・全国大会等への進出を目指した活発な部局同好会の活動

☆進学実現へ向けての講習によるフォローアップ

- ・年間最大約80日におよぶ講習体制
- ・授業内容を定着・発展させる講習内容

◎入学者の受入れに関する方針

◆本校では次に掲げた生徒の入学を求めます

- ☆高い目的意識を持ち、大学進学等に向けた発展的な学習に取り組む学習意欲にあふれた生徒
- ☆スポーツ・文化芸術・生徒会活動等に積極的に取り組み、大学進学等に向けた学習との両立を図る活動意欲にあふれた生徒

Action

何ができるようになるか
○育成を目指す資質・能力

- 自分のことを客観的に捉え、意欲的に課題に取り組み、主体的に活動することができる
- 自分の意見を的確に述べ、他者の意見を正確に聞き取ることで、力を合わせて様々な問題の解決に当たることができる
- 夢に向かって学ぶという志を持ち、自己の生き方を模索することができる

Check

何が身に付いたか
○学校評価の充実

生徒の実態

生徒の発達をどのように支援するか
○生徒の発達を踏まえた指導

- よりよい人間関係の構築
- カウンセリングマインドによる生徒理解
- 生徒の自主性を促すコーチング
- 主体的な学習を促すための学び方指導

目指す生徒の姿

Plan

何を学ぶか
○教育課程の編成

- 各教科・科目を通して、専門的な知識・技能を学ぶ
- 「総合的な探究の時間」を通して、進路設計の方法を学ぶ
- 地域・保護者から求められることを実現する

Do

どのように学ぶか
○指導計画の作成と実施、学習指導の改善・充実

- 『主体的・対話的で深い学び』が実現されているか
- 言語活動の充実が図られているか
- ICTの活用を含めた教材・教具が工夫されているか
- 学習の見通しを立てたり、内容を振り返ったりしているか

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校評価、授業評価、反省会議を有機的に繋げ、PDCAサイクルを意識する
- 定期的な研修会を実施するとともに、授業参観月間を設定する
- 「インターンシップ」や「学び探究ゼミ」等において地域の資源を有効に活用する

安心・安全を守る

- 防災・安全教育の充実
- 道徳教育、主権者教育・、費者教育の充実
- 清掃活動、消毒作業の実施
- 交通安全・防犯教室の開催

開かれた学校づくり

- 地域の教育資源や学習環境を考慮して設計する
- PTAや後援会・稲心会、同窓会、地域等との連携を強化する
- 「インターンシップ」や「学び探究ゼミ」において地域と連携する